

多治見市役所本庁舎跡地等利用についての提言書 中間まとめ (案)

0.本書の位置づけ

本書は、「多治見市役所本庁舎跡地等利用検討市民委員会」によって本庁舎移転後の跡地等の使われ方について検討した提言書の中間まとめです。今後、市の跡地等に係る活用方針等を受け、委員会として基本構想策定に向けた提言として「多治見市役所本庁舎跡地等利用についての提言書」として取りまとめを予定しています。

※多治見市役所本庁舎跡地等利用検討市民委員会：本庁舎移転後の跡地等の利用方法および計画について検討するため、自治会代表や有識者、学識経験者、公募市民により構成された委員会

1. 「今」の本庁舎周辺はどんな場所？

1-1. 多治見市全体から見てどんな場所？

- 商店や住宅が集まっており、古くから**中心市街地として栄えてきた歴史ある場所**です。
- 長年にわたって本庁舎が位置しており、市の**行政の中心的な役割**を担っていました。
- **人口減少社会の中で**、JR多治見駅周辺への本庁舎移転をきっかけとして、**エリアの役割が変化**しようとしています。

1-2. 本庁舎周辺の環境は？

- 周辺には住宅地が広がっており、**住民の生活の一部となるエリア**である一方で、**日常的に訪れ、遊び・交流できる場所が不足**しています。
- エリア北側には土岐川が流れており、**豊かな水資源が魅力**ですが、その反面**水害の危険性**があります。
- 休日は**オリベストリートへの来訪者が多く**、賑わいをみせており、本庁舎駐車場も来訪者用に開放しています。

1-3. 本庁舎周辺の課題は？

- エリアの象徴的な存在であった本庁舎がなくなった後、**地域住民にとって必要な機能は何なのか**、再検討することが求められています。
- 市内外から多くの人が訪れるオリベストリートに近い**ため、今後も来訪者にも配慮した利用**を検討する必要があります。

2. 「将来」の利用について

市民ワークショップで意見を募りました！

本庁舎跡地の利用方法の検討に興味のある方を募集し、参加いただいた多治見市民や市内高校に通う生徒など様々な立場から意見をいただきました。

○第1回：本庁舎跡地が**どのような場所になると良いか、そのためには何が必要か**アイデアを出し合いました。

○第2回：第1回の成果を踏まえて、**本庁舎跡地等の使われ方イメージをさらに深堀り**していきましました。

表 市民ワークショップの意見まとめ

区分	共通点	内容
1. 対象者	幅広い年代・地域の利用	•子どもから高齢者まで幅広い世代や地域住民、観光客、子育て世代など、多様な利用者を想定
2. 空間・機能	地域交流施設の設置	•世代や用途を問わず多様な人が集える施設の設置を求めている
	広場の設置	•多目的空間やフリースペースなど、自由に使える空間を重視 •世代や用途を問わず多様な人が活用できる広場の設置を求めている
3. 周辺連携	駐車場の設置	•交流、防災、子育て、イベント、自然体験など、広場に複数の役割を持たせている •新施設の利用者や周辺観光客に向けた駐車場の設置を望んでいる •駐車台数を確保するため立体駐車場とする意見もあり
	防災機能の設置	•エリアの特徴を踏まえて災害に対する備えを重視
3. 周辺連携	オリベストリートとの連携	•オリベストリートとの連携性強化を意識しており、観光客や地域住民の交流・回遊性を高めるための動線や施設配置を重視

3. ワークショップと委員会での議論を踏まえて、私たちの期待する本庁舎跡地の将来像をまとめました！

将来像：日常的に人が集まり、交流が生まれる、地域の賑わい拠点

市民ワークショップ・委員会での意見や成果を踏まえ、本庁舎跡地は、**市内外から人が集まり、交流が生まれる、賑わい拠点**となることを期待します。

市民の交流・活動の場としての機能に加えて、**周辺観光等を目的とした来街者との交流**も検討することで、継続的な賑わいが生まれるエリアとなることを望みます。

この将来像を実現するためには、ここにしかない特色や個性を魅力としてアピールできる場所としていくことが重要と考えます。

＜ 概念図 ＞

